

オーガニック・ビジョン2035

ー 人と自然が調和する社会へ ー

（自治体首長共同宣言）

私たちはいま、気候変動、資源の限界、人口減少など、大きな転換点の中に立っています。
世界ではすでに、オーガニックやサステナブルの理念が、新しい社会の軸として広がりつつあります。
私たちもまた、この流れに学び、地域の力で応えていく。人と自然が調和する社会を、自らの足元から築く。
それが、次の10年に向けた私たちの決意です。

【1】理念

“オーガニック”とは、農業や産業の技術を超え、人・自然・地域が共に生きる「新しい社会のかたち」です。
それは、自然の循環を尊び、食・環境・教育・健康・経済をつなぐ、暮らしの文化の再生にほかなりません。

【2】共通の目標（2035年に向けて）

- 一、暮らしの中にオーガニックを。
日々の選択を通じて、自然と調和する感性を育てます。
- 一、地域の力で未来をつくる。
再生可能エネルギー、地産地消、資源循環を進め、環境と経済の調和を実現します。
- 一、次世代とともに学び、つなぐ。
子どもたちと共に考え、行動し、誇りある地域の未来を育てます。

【3】地域から世界へ

オーガニックなまちづくりは、どの地域にも開かれています。
それぞれの風土や文化を活かしながら、日本の地域から、世界と響き合う実践を積み重ねていく。
世界に学び、世界と連携し、地域の創意と文化の力で応答していくことこそ、私たちの責任であり、希望です。

【4】宣言

私たちは、市民・企業・教育・文化が手を携え、オーガニックの理念を暮らしの中に根づかせ、次の世代へと確かに引き継ぎます。
人と自然が調和し、世界と共に歩む社会を、地域から。
それが、私たちが共有する——オーガニック・ビジョン2035です